

第63回近代五種全日本選手権大会



さとう たいしゅう  
佐藤 大宗

令和5年11月23日（祝）から25日（土）までの間、静岡県御殿場市において「第63回近代五種全日本選手権大会」が開催された。ナショナルチームの選考を兼ねた国内最大の大会に自衛隊体育学校からは11名が出場し、男子が表彰台を独占、女子は2位・3位を獲得した他、団体でも1位・2位の成果を取った。なお、パリオリンピックで最後となる馬術競技は、国内において今大会が最後となった。

佐藤大宗3等海曹はフェンシングで1位通過、水泳・馬術で順位を2位に下げたものの、得意のレーザーランで圧倒的な強さを見せ独走でゴール、歓喜の雄叫びを上げた。佐藤3曹は「今回の全日本選手権で優勝奪還を目標に各種目全集中してベストパフォーマンスできたと思います。監督、コーチ、体育学校職員の方々の熱い応援・サポートが私だけでなく選手全員の力になり、心から感謝しています。全日本王者の名に懸けてパリ五輪で金メダル獲得を目指して精進していきます。」と語った。



大西渚生3等陸曹は馬術で荒れる馬を宥め満点を獲得、レーザーランはトップで出走したものの追い上げられ2位となった。大西3曹は「優勝を目標としていたのですが、納得できる結果ではなかったが、自分がこの結果をどう捉えるかによって今後の自分が大きく変わらと思うので、絶対に価値ある負けにします。今年も怪我で苦しい時期があったが、ここまで復帰できたのはいつもサポートしてくださる皆様のおかげと感謝しています。大きな恩返しができるように精進します。」と述べた。

藤田竜大陸士長は馬術・レーザーランで大健闘し初入賞を果たしたほか、若手新人選手に贈られる「藤井賞」も受賞、藤田士長は「全日本選手権においてたくさんのご支援やご声援ありがとうございました。今大会では決勝に進めば確実にチャンスは巡ってくると思いき準備し、自分の力を最大限出すことができました。これからがスタートなので、振り返らず前だけ見て進んでいきたいと思っています。」と述べた。

内田美咲3等陸曹は令和元年優勝選手とレーザーランで激しい首位争いを繰り広げたが惜しくも優勝を逃した。内田3曹は「優勝を狙っていたので2位という結果になり本当に悔しい、まだまだ力不足な点があると改めて感じました。今回の試合の反省点を今後の課題とし更に強くなる為に日々練習に励みます。応援・サポートしてくださったすべての皆様に感謝するとともに、国内では馬術を含めた最後の試合だったので、馬たちにも感謝をしています。」と語った。

梅村華苗3等海曹はフェンシングBL（ボーナスラウンド）で首位になる他、粘り強い戦いで初入賞。梅村3曹は「全日本選手権で初めて表彰台に上ることができました。得意種目のフェンシングでは自分らしい強気の戦いが、苦手種目のレーザーランでは意地の走りができたことが順位に繋がったと思います。応援・サポートしてくださった皆様にいい報告ができるよう更に上を目指して頑張ります。」と意気込みを語った。

本結果はパリオリンピック出場資格獲得に向け足がかりとなった。



総合成績		
〔ファイナル出場者〕		
性別	氏名・所属	順位
男子	佐藤大宗 3等海曹	1位
	大西渚生 3等陸曹	2位
	藤田竜大 陸士長	3位
	菅沼広太 3等海曹	4位
女子	内田美咲 3等陸曹	2位
	梅村華苗 3等海曹	3位
	田口そよ風 3等海曹	4位
	矢野佑歩 陸士長	7位
団体	自衛隊A 佐藤3曹・大西3曹・菅沼3曹	1位
	自衛隊B 松原3曹・清水3曹・藤田士長	2位

